

2025年度

二チイキッズ穂高保育園 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月31日（土）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月10日（火）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「おもいっきり遊ぶ おもいっきり学ぶ」の保育理念を職員が理解し、現状に応じた保育計画・実践の改善・取り組みを行い子ども自らが、遊びだす力を育んだ。
子どもの発達援助	発達する力を十分伸ばせる手立てを考え、適切な接し方で発達を支えるようにした。子どもの興味をとらえ季節ごと自発的、意欲的にかかわれる環境を構成した。子どもの姿からは力を蓄えた成長がたくさん見られた。
保護者に対する支援	子育ての問題に対して丁寧に向き合い受け止めを行った。子どもの育ちや様子に合わせた関わりについて一緒に考え、状況に配慮した支援を行った。子育て広場は、ホームページ等で情報発信を行い自園をより知って頂き、たくさんの方に参加いただけた。
保育を支える組織的基盤	振り返りの時間の確保の充実を図った。子どもの発達する力に対する環境配慮や接し方など話し合い実践へと繋げるようにした。なんでも語り合える仲間として話し合いを継続し保育の更なる質の向上を心掛けたい。

総評
それぞれの発達過程を踏まえながら一人ひとりと向き合うようにした。保育士の言葉、振る舞いを意識し丁寧に寄り添う保育も行ってきた。身近な環境に親しみ触れ合う中で様々なものに興味や関心が持てるよう状況に合わせて玩具や遊具を選び環境を整えた。子どもの生活の大事な食育活動では、身近にある食材を活用し食に関わる体験を保育に取り入れた。成長とともに言葉の発達の著しい子ども達、活動の中で自分なりの言葉で表現することを楽しんでいる。その楽しい喜びを受け止めたり、感情ややりたいこと、訴えていることなどしっかり読み取れるように今後も向き合っていきたい。